

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	研究ゼミナール (Seminar of Study)		
ナンバリングコード	J31702	大分類 / 難易度 科目分野	機械電気工学科 専門科目 / 応用レベル 研究キャリア
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 後期
必修・選択区分	必修		
授業コード	J181558	クラス名	伊藤研究室
担当教員名	伊藤 順治		
履修上の注意、 履修条件	やむを得ない場合を除いて遅刻欠席をしない事		
教科書	特になし		
参考文献及び指定図書	特になし		
関連科目	情報通信工学、制御工学、ロボット工学、電気電子実験2、Cプログラミング、数理解析		

○授業の目的・概要等	
授業の目的	機械電気工学科DP「知識・理解」に基づき、プログラミングを通して最先端のシステム制御を学んでもらいます。
授業の概要	第1週目では研究ゼミナールの説明を行い、受講生にマッチした研究内容についてプログラミングを主に学んでもらいます。作成したプログラムを提出物として判断します。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「演習等形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 双方向授業 他
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	・実務経験者名: 伊藤順治 ・実務経験がある教員が行う教育の内容: 各種センサー技術の解説、プログラミング演習による制御解説

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	やむを得ない場合を除いて遅刻欠席をしない。		10点	15点
【知識・理解】	研究ゼミナールで取り組んだ専門分野の基礎的な内容を理解できる。		30点	5点
【技能・表現・コミュニケーション】	研究ゼミナールで取り組んだ専門分野について基本的な説明ができる。			5点
【思考・判断・創造】	与えられた課題に対して学び、要点を簡潔にまとめることができる。		30点	5点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
コーディングしたプログラムを提出物として判断します。 やむを得ない場合を除いて遅刻欠席をしないこと。 学習成果・課題のフィードバックは適宜、研究室で行います。

○その他

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名：研究ゼミナール (Seminar of Study) 担当教員：伊藤 順治	授業コード：J181558
学修内容		
1. 自己紹介・ガイダンス/授業内評価 研究の内容説明などを行います。		
予習:		(約2.0h)
復習:		(約2.0h)
2. プログラミング基礎 基礎的なプログラミングを行います。		
予習:		(約2.0h)
復習:		(約2.0h)
3. プログラミング基礎 基礎的なプログラミングを行います。		
予習:		(約2.0h)
復習:		(約2.0h)
4. プログラミング基礎 基礎的なプログラミングを行います。		
予習:		(約2.0h)
復習:		(約2.0h)
5. プログラミング応用 模型鉄道運行システムのプログラミングを通して応用的なプログラミングをしてもらいます。		
予習:		(約2.0h)
復習:		(約2.0h)
6. プログラミング応用 模型鉄道運行システムのプログラミングを通して応用的なプログラミングをしてもらいます。		
予習:		(約2.0h)
復習:		(約2.0h)
7. プログラミング応用 模型鉄道運行システムのプログラミングを通して応用的なプログラミングをもらいます。		
予習:		(約2.0h)
復習:		(約2.0h)
8. プログラミング応用 模型鉄道運行システムのプログラミングを通して応用的なプログラミングをもらいます。		
予習:		(約2.0h)
復習:		(約2.0h)

○授業計画	科目名：研究ゼミナール (Seminar of Study) 担当教員：伊藤 順治	授業コード：J181558
学修内容		
9. プログラミング応用 模型鉄道運行システムのプログラミングを通して応用的なプログラミングをもらいます。		
予習:		(約2.0h)
復習:		(約2.0h)
10. プログラミング応用 模型鉄道運行システムのプログラミングを通して応用的なプログラミングをもらいます。		
予習:		(約2.0h)
復習:		(約2.0h)
11. プログラミング応用 模型鉄道運行システムのプログラミングを通して応用的なプログラミングをもらいます。		
予習:		(約2.0h)
復習:		(約2.0h)
12. プログラミング応用 模型鉄道運行システムのプログラミングを通して応用的なプログラミングをもらいます。		
予習:		(約2.0h)
復習:		(約2.0h)
13. プログラミング応用 模型鉄道運行システムのプログラミングを通して応用的なプログラミングをもらいます。		
予習:		(約2.0h)
復習:		(約2.0h)
14. プログラミング応用 模型鉄道運行システムのプログラミングを通して応用的なプログラミングをもらいます。		
予習:		(約2.0h)
復習:		(約2.0h)
15. プログラミング応用 模型鉄道運行システムのプログラミングを通して応用的なプログラミングをもらいます。		
予習:		(約2.0h)
復習:		(約2.0h)
16.		
予習:		(約2.0h)
復習:		(約2.0h)